

夢洲における物流交通対策について

令和5年3月30日
大阪港湾局

万博開催時の物流交通対策（案）

①CONPAS(※)の導入

(ゲート処理時間の短縮等)

- ・ 令和4年8～9月に第2回、令和5年2月に第3回、令和5年3月に第4回の試験運用を実施
- ・ 令和5年度中の本格運用をめざす

(※) Container Fast Passの略

②車両待機場の整備 済

(240台分確保)



③ターミナルゲート時間延長

(30分で最大200台分散)



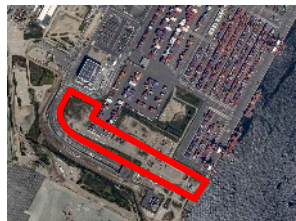
(通常) 平日：8:30～11:30, 13:00～16:30
土曜：8:30～11:30

④荷捌き地の拡張（ゲート増設）

(ゲート前待機スペース100台分確保)

(ゲート増設により、1時間当たり120台削減)

- ・ 令和5年度末完成予定



(写真はイメージ)

夢洲

夢洲コンテナ
ターミナル

C8,9

咲洲

C6,7

C1-4

⑤咲洲へシフト

⑤-2. 空コンテナ返却場所一時移転

- ・ 令和3年10月に夜間陸送による社会実験を実施
- ・ 令和4年11～12月に海上運搬による社会実験を実施

②車両待機場の整備

(150台分確保)

- ・ 令和5年3月末完成予定

⑤咲洲へシフト

⑤-1. 船舶着岸場所一時移転

- ・ 令和5年1月にC6,7ガントリークレーン製作設置工事に着手
- ⑤-2. 空コンテナ返却場所一時移転
- ・ 令和4年11～12月に海上運搬による社会実験を実施

≪③ゲートオープン時間の延長、⑤咲洲へシフトは万博期間中のみの対策≫

物流交通对策概略工程（案）

R7.4.13~10.13

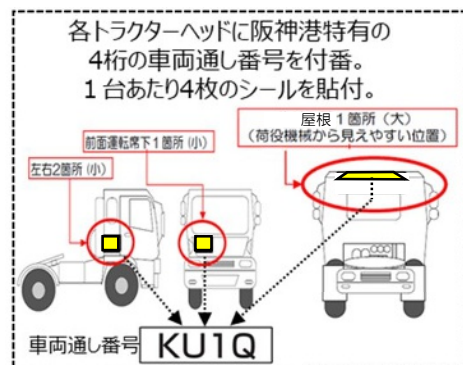
項目	概要	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
①CONPASの導入	新・港湾情報システム（CONPAS）							
②車両待機場の整備	夢洲での追加整備 咲洲での追加整備							
③ターミナルゲート時間延長	早朝等ゲートオープン時間の延長							
④荷捌き地の拡張（ゲート増設）	C12コンテナターミナル拡張※、ゲート増設 （※ 増設ゲート周辺部分）							
⑤咲洲ヘシフト	船舶着岸場所一時移転 空コンテナ返却場所一時移転							

進捗状況 1

① 新・港湾情報システム（CONPAS）の導入

【イメージ図】

輸入コンテナ搬出の場合



- ・携帯端末内のGPSを用いて構外の車両位置情報を送信（渋滞情報や作業状況の確認に活用）
- ・リアルタイム情報の受信（コンテナ搬出可否情報や混雑情報等）
- ・ドライバーの作業状況を関係者へ通知することによる業務の効率化

PSカードをカードリーダーにタッチした後、トレーラーの行先を携帯端末に表示（紙ブラカードを廃止）⇒ゲート処理時間の短縮

携帯端末内のGPSを用いて車両位置情報をターミナルに送信（ターミナル荷役作業に活用）⇒荷受け待ち時間の減少



＜導入スケジュール＞

・令和3年度より夢洲(DICT)において試験運用を実施中。

	実施日	実施対象	実施結果
第1回	令和4年1月27, 28日	輸入コンテナ（搬出・実入り）	システムが問題なく稼働することを確認
第2回	令和4年8月22日～9月2日	輸入コンテナ（搬出・実入り）	ゲート受付時の処理時間60秒削減（69秒→9秒）を確認
第3回	令和5年2月20日	輸出コンテナ（搬入・実入り）	搬入コンテナ情報の事前照合機能について、概ね正しい照合結果が表示されることを確認
第4回	令和5年3月6日～3月17日	輸入コンテナ（搬出・実入り）	（整理中）

➡ 令和5年度中の本格運用をめざす。

進捗状況 1

① 新・港湾情報システム（CONPAS）の導入

【DICTにおける試験運用の様子】



①CONPAS車の車両待機場到着、
予約確認、
待機場内専用レーン通行



②ターミナルゲート到着
③INゲートでの入場手続き
(PSカードの読取り)



④ドライバーに貸与した携帯
端末へのヤード内行先表示
(コンテナ蔵置場所表示)

⑤ヤード内でのコンテナ積み込み作業
⑥OUTゲートでの退場手続き
⑦CONPAS車のターミナル出発

【DICTにおける試験運用の実施概要・実施結果】

第3回試験運用

輸出

- ・時期：令和5年2月20日(月)
- ・実施内容：ダミーのコンテナデータ（輸出コンテナの搬入・実入り）を用いた、搬入コンテナ情報の事前照合機能の動作確認

※輸出コンテナを対象にした初めての試験運用

→搬入コンテナ情報の事前照合機能について、概ね正しい照合結果が表示されることを確認

第4回試験運用

輸入

- ・時期：令和5年3月6日(月)～3月17日(金)（約2週間）
- ・参加社数：海運貨物取扱業者 13社
海上コンテナ輸送事業者 27社
- ・実施内容：1)営業コンテナ（輸入コンテナ(搬出・実入り)）を対象としたゲート処理の運用の検証
2)待機場を活用したCONPAS運用ルールや動線の確認
3)ターミナルでの荷役作業へ活用するためのCONPASとTOS(ターミナルオペレーションシステム)の連携の確認

・予約枠設定：60分枠(基本)、8枠/日、30台/枠(基本)

※第2回試験運用よりも規模を拡大した試験運用（輸入）

→ 実施結果について整理中

進捗状況 2

② 車両待機場の整備

＜夢洲＞ 令和3年度に約240台分を追加整備し、既設待機場と合わせて合計で約440台分の待機場を確保済み。

→ 幹線道路上のコンテナ車両の滞留列は一定解消。

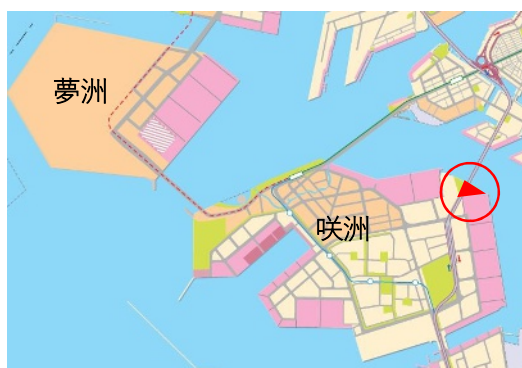


車両待機場 II の使用状況



現在の幹線道路の状況

＜咲洲＞ 車両待機場(150台分)の整備について、令和4年3月工事着手、令和5年3月末完成予定。



咲洲車両待機場位置図



工事状況 (R5.2)

進捗状況 3

⑤-1 船舶着岸場所一時移転（咲洲C6,7埠頭 ガントリークレーン整備）

- ・ 令和5年1月にガントリークレーン製作・設置工事に着手。

⑤-2 空コンテナ返却場所一時移転

- ・ 令和4年11～12月に海上輸送による社会実験を実施。

	咲洲側 返却場所	実施日数 ・ 本数	実施結果
その 1	C1 ターミナル	16日間 400本	13時時点のC11入場車両の 夢洲道路路上待機台数が ▲39%（28台/日→17台/日）
その 2	C6,7 ターミナル	16日間 432本	13時時点のDICT空コンテナ返却車両の 夢洲道路路上及び待機場内待機台数が ▲13%（178台/日→155台/日）



《実施場所、空コンテナ海上輸送状況》

【イメージ図】

